

令和2年度 第3・4・5回 合同番組審議会 議事録

1 開催年月日

令和3年2月18日（水） 午前10時00分～午前11時ごろ

2 開催場所

砺波市太郎丸2-129 北日本新聞社砺波支社 会議室

3 委員の出席

委員総数 5名

出席委員数 5名

出席委員の氏名（◎委員長）

- ◎ 館 俊博 (73歳、男、砺波市文化協会会長)
- 小幡 豊 (71歳、男、砺波市文化会館館長)
- 安達 陽子 (47歳、女、木彫刻家)
- 池田 麻衣子 (47歳、女、株式会社三喜有常務取締役)
- 大谷 忠史 (43歳、男、砺波商工会議所元青年部会長)

放送事業者側出席者名

- 河合 常晴 (株式会社エフエムとなみ 代表取締役社長)
- 古井 裕人 (株式会社エフエムとなみ 取締役業務部長)
- 高信 静枝 (株式会社エフエムとなみ 放送課長)

4 議事の概要

社長の挨拶に続き、放送番組についての説明の後協議へ。

その後は、番組編成などについて意見交換を行った。

5 議題

1. 放送番組に対する評価

《対象番組》

- ・鈴木秀明 資格ノススメ（2019年11月3日（日）放送）

毎月第1火曜12時20分から放送。

平日昼の生放送番組「HAPPY SHOWER」内のゲストコーナーとして放送している。

砺波市出身の鈴木秀明さん（東京在住、700以上の資格を取得し、資格に関する執筆やアドバイスをを行う資格コンサルタント）が、様々なシーン毎に役立つ資格や資格取

社名	株式会社エフエムとなみ
----	-------------

得のノウハウなどを紹介する。電話インタビューで話を聴く 20 分のコーナー。
(聞き手：タナベサマキ)

・特別番組「砺波図書館 BOOK ナビ特別編」(2020 年 11 月 23 日 (月) 放送)

2020 年 11 月 1 日に開館した新砺波図書館を紹介する 30 分の特別番組。

平日昼の生放送番組「HAPPY SHOWER」内のゲストコーナーとして、毎月第 3 木曜
12 時 20 分から「砺波図書館 BOOK ナビ」を放送している。

図書館スタッフから、おすすめの本や図書館からのお知らせなどを紹介しているが、
今回は特別編として、新たな図書館の魅力や使い方を紹介した。また、利用者のイン
タビューも収録した。

(パーソナリティー：高信静枝)

・ラジオエッセイこころの世界 (2021 年 1 月 19 日 (火) 放送)

毎週火曜放送。

僧侶で元教員の竹部俊恵さんが、日々感じたことや気付きを綴るラジオエッセイ。

今回は 1 月の大雪を振り返り、高村光太郎の詩を引用しながら、雪との向き合い方や、
かつて五箇山で触れた雪国の暮らしぶりを伝えている。

2. 番組編成に対するアドバイス

3. その他

6 審議内容 (各委員の発言を要約して箇条書きで記載)

【小幡副委員長】

・「鈴木秀明 資格ノススメ」について

以前より取得資格数も増えていて感心した。

資格に関するコンサルタント業とはどんなものか、コロナ禍の中で生かせる資格など具体例
を引きだしてほしい。

・「砺波図書館 BOOK ナビ特別編」について

図書館の案内は簡潔にされていて聴きやすかった。

インタビューが続いたので、途中で一曲挟んでもよかったと思う。

新砺波図書館を何度か利用したが、期待を越えていたところもあった。今後交流の場として
利用されるのではないかと期待している。

館長の話にあった高校生による読み聞かせや、百人一首大会など今後期待したい。

・「ラジオエッセイこころの世界」について

BGMの雰囲気もよく、全体的にいい番組であると感じた。

今回は 1 月の大雪の話題だったが、高村光太郎の詩を引用して雪との向き合い方について語

社名	株式会社エフエムとなみ
----	-------------

っているところもよかった。

自分自身も、除雪を通して普段は交流のない近所の人と話したり、コミュニティの確認ができたりと、雪も悪くないなと感じた。

・番組編成について

子ども向けの番組、例えば寝る前に聴いてもらえるような読み聞かせなど、制作してもいいのではないか。

【池田委員】

・「鈴木秀明 資格ノススメ」について

番組タイトルを聴いたときに「資格」でなく「四角」と思ってしまった。「四角ノススメ」とは？と思ったが、「資格」なのは考えれば分かることで、これが音だけの難しさ、楽しさでもあるかと思った。

資格試験がデジタル化されているのには、進んでいるんだなと感じた。

簡単な入門編としての資格試験、やってみようと思えるような具体例があればよかった。

・「砺波図書館 BOOK ナビ特別編」について

建設中から気になっていたので興味を持って聴くことが出来た。

館長の思いが伝わってきて、あたたかい雰囲気図書館だなと感じた。

職員の館内案内も上手で、行ってみたいと思わせてくれる内容だった。

利用者の感想があったのもよかった。

たまには読書してみようかなと思った。

・「ラジオエッセイこころの世界」

聴き入ってしまう内容だった。

雪国の心意気をもっと伝えていくべきなのかと感じた。

除雪も地域コミュニケーションの一つ、大変の向こうにあるものに気づかされた。

貴重な話を聴けた番組だった。

【安達委員】

・「鈴木秀明 資格ノススメ」について

鈴木さんが沢山の資格を取得しているのがすごいなと思った。

自宅でも受験できる資格があることに驚いた。

資格を生かした体験なども聴けたらよかった。

・「砺波図書館 BOOK ナビ特別編」について

砺波図書館はいつも受験生の娘を送迎している。すごく明るい雰囲気で今度じっくり利用してみたいと思った。

社名	株式会社エフエムとなみ
----	-------------

外観の大屋根のことや、中の様子も分かりやすく紹介されていてよかった。

・「ラジオエッセイこころの世界」

話がずっと入ってきた。

雪の話題だったが、子どもの頃を思い出して、子どもたちにも聞かせたいと思った。

雪による人と人との繋がりにあたたかさを感じた。

【大谷委員】

・「鈴木秀明 資格ノススメ」について

資格数がすごいと思った。

インターネットで受験できる資格もあるという話が参考になった。

自分がまず思いつくのは仕事に関する資格だが、趣味に関するものなど沢山ある。

興味を持ってもらえる資格を紹介してもらえたらいい。

・「砺波図書館 BOOK ナビ特別編」について

新砺波図書館にまだ行っていないが、行ってみたいと思う内容だった。

やわらかい、あたたかい雰囲気伝わってくる番組構成だった。

書籍検索のことなど、デジタル化された部分の紹介もあり興味を持った。

・「ラジオエッセイこころの世界」

タイムリーな話題でよかった。

雪の日の対応はついつい忘れがちで、そういうことに気づかせてくれる内容だった。

雪との向き合い方を聴けてよかった。

【館委員長】

・「鈴木秀明 資格ノススメ」について

すごい人が砺波出身でいるのだな、こんなに沢山の資格があるんだなと思った。

日本と欧米では試験の仕組みなどが違うという話が興味深かった。

チャンスや環境、資格に対する考え方も違うのかなと思った。

コンサルタント業務の中での具体例があればよかった。

・「砺波図書館 BOOK ナビ特別編」について

大屋根が傾いて見える話など、砺波図書館の魅力が紹介されていた。

行ってみたいと思える、あたたかい雰囲気の番組だった。

図書館内の紹介部分では、映像がない分想像力が働かされて、音声だけというのも面白いなと思った。

お父さんによる読み聞かせや、家族での利用、学年を越えての連携イベントなど、これからの図書館の企画も楽しみになった。

社名	株式会社エフエムとなみ
----	-------------

・「ラジオエッセイこころの世界」

雪を通して人との繋がりを気付かせてくれた番組だった。

上平地域の雪の季節の生活を紹介する際に、「上平の人たちは明るかった、すっきりしていた、柔軟な対応だった」という表現があったが、生き様をうまく表現していてさすがだなと思った。

これまで生活や経験のなかで感じられたことが、今は気候や生活様式の変化で感じられなくなっている。それを伝えられる番組でよかった。

・番組編成について

1月の大雪の際に、高速で移動中渋滞を回避しようと右往左往した。いざという時の情報発信の大切さを感じた。

メディアの多様化のなかで、利用者はどう使い分けていくかが課題だが、発信者としてどんなことができるのか改めて検討してほしい。

7 審議機関の答申又は意見に対してとった措置の内容及び年月日

- ・「鈴木秀明 資格ノススメ」について、資格の生かし方など具体例も交えた番組進行になるよう確認した。(令和3年2月23日)

- ・災害時の情報提供の方法について改めて確認するよう指示した。(令和3年2月19日)

8 審議機関の答申又は意見の概要の公表

令和3年2月19日付北日本新聞朝刊に記事を掲載。

FMとなみのHP上でも議事録を公開。

以上

社名	株式会社エフエムとなみ
----	-------------